

ヴァイニツヒ社がMDFシンポジウム

ラッピング・ソリユーション紹介

初の取り組みも高い効果

ドイツの大手木工機械メーカー・ヴァイニツヒ社は2月27、28の両日、ラッピング・ソリユーション（MDFから回りの縁などを生産）を紹介する「MDFシンポジウム」を開催。ドイツをはじめ日本やイタリア、イギリス、スウェーデン、スロバキア、韓国などヨーロッパを中心に世界14カ国から207人が参加した。

14カ国、207人が参加

シンポジウムは、MDFラッピングの最先端技術を紹介するもので、MDF原板→ラッピングソーで大割り加工→ギヤングリップソーで小割り加工→モルダ加工→ラッピング加工、という一貫した生産システムを紹介。そのため、ヴァイニツヒグループの「ラニ

ニングソー」「ギヤングリップソー」「モルダ」に加えて「バーバラン社」のラッピングマシンを含めて実演展示した。

さらにワークシヨップの形で刃物メーカーのライツ社がラッピング・ソリユーションに

必要なのは、必要なら刃物システムについて紹介するほか、

接着剤を供給するクライベリット社がラッピングに最適なPURホットメルトの最新技術をプレゼンテーション。さらに、シートメーカーのパウシュリネマン社が化粧紙や樹脂

ト対応や、品質を落とさずに高速加工（100分/分）する方法について紹介。さらにはサンディング工程の省略、あるいは極力抑えた上での仕上がり向上（光沢シートへの対



ワークショップの様相

シートの最新動向について紹介した。

実演展示では、カットイング工程からモルダ加工、ラッピング工程まで通して求められる少ロット

が提案された。特にサンディング工程の省略については、工程短縮によるコスト削減

集成材の特急便

集成材加工の品質向上と時間短縮に当社をお役立てください。

TSC 株式会社 ティ・エス・シー
〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349

いては、モルディング材の寸法精度が大切だが、サンディングを行うと表面性が高まるものの形状寸法の精度が低下すると指摘。対してヴァイニツヒ社のモルダ加工では高速加工を行っても高精度で仕上げ肌がきれいなため、そのままラッピング加工に移れる点が強調された。

ヴァイニツヒ社がバーバラン社などグループ外の機械メーカーと連携してソリユーション提案するのは初の取り組みで、期間中に販売契約を結ぶなど高い効果があったという。